

# 次期長野県教育振興基本計画の策定について

教育政策課

## 1 策定の趣旨

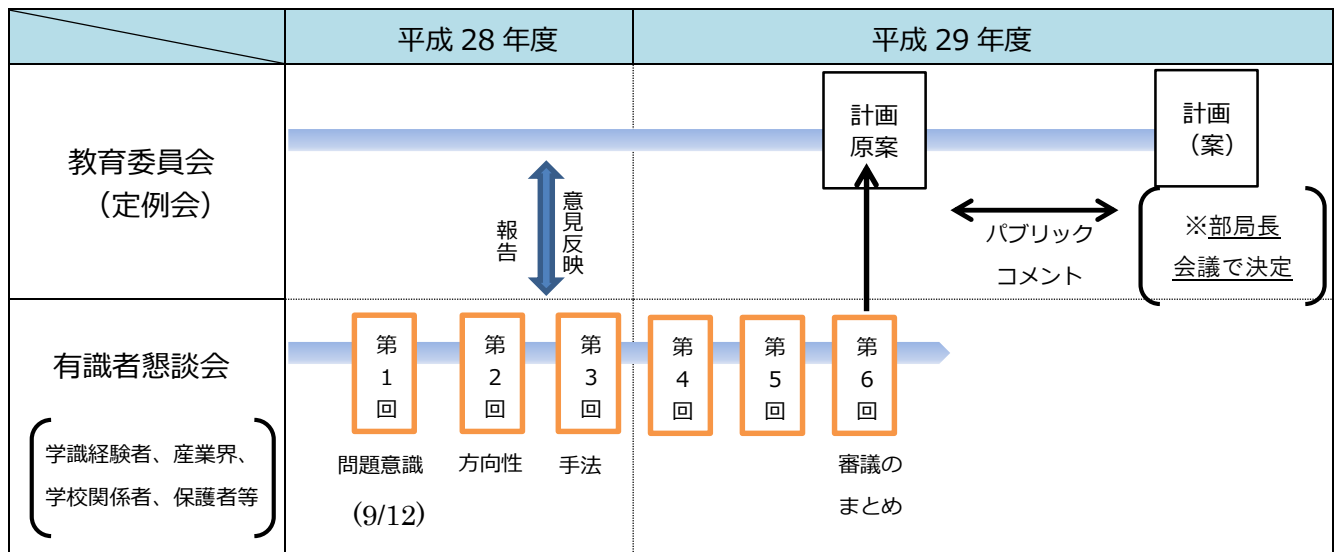
現行の第2次長野県教育振興基本計画の計画期間が平成29年度末で終了することから、現行計画策定後に生じた、社会変化に対応し、今後の長野県教育の方向性を明らかにするため、新たな長野県教育振興基本計画を策定する。

## 2 計画期間 今後検討

## 3 策定に係る意見聴取の手法

- (1) これからの長野県教育を考える有識者懇談会  
学識経験者、産業界、学校関係者、保護者等から意見を聴取し、計画策定に反映させる。
- (2) 総合教育会議
- (3) 懇談会  
市町村教育委員会との懇談会、市町村長との意見交換、県政タウンミーティング、学校現場の教職員や児童生徒、学生等との意見交換。
- (4) パブリックコメント

## 4 計画策定の進め方（案）



## 参考

### 【教育基本法】

第17条 政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について、基本的な計画を定め、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

- 2 地方公共団体は、前項の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。

# 「これからの長野県教育を考える有識者懇談会」の設置について

教育政策課

## 1 目的

次期長野県教育振興基本計画の策定に際して、有識者等から意見を聴取し、計画策定に反映させるため、有識者会議を設置する。

## 2 設置期間

平成28年9月12日から平成30年3月31日まで

## 3 有識者会議の構成

学識経験者、産業界、学校関係者、保護者等から構成17名

(敬称略、五十音順)

氏名	所属・職名
浅輪 佳代子	長野県PTA連合会監事
伊藤 かおる	株式会社コミュニケーションズ・アイ代表取締役社長
上原 貴夫	上田女子短期大学教授
大森 けい子	みずず幼稚園名誉園長、一般社団法人長野県私立幼稚園・認定子ども園協会副理事長
鏡味 洋子	松本市立旭町小学校長
金子 元昭	シナノケンシ株式会社代表取締役社長
小林 勉	小諸養護学校長
小林 りん	学校法人インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢 代表理事
近藤 守	長野市教育委員会教育長、長野県市町村教育委員会連絡協議会理事長
田村 秀	新潟大学法学部教授
中村 礼子	長野市立豊野中学校長
奈須 正裕	上智大学総合人間科学部教授
西澤 孝枝	株式会社西澤電機計器製作所代表取締役
平野 吉直	信州大学理事・副学長
保坂 美代子	松本美須ヶ丘高等学校長
百瀬 康雄	松商学園高等学校長、長野県私立中学高等学校協会会長
矢花 久美子	長野県高等学校PTA連合会副会長

## 4 開催スケジュール（案）

第1回：平成28年9月12日（月） 本年度：3回、来年度：3回 計6回の開催を予定

## ※ 教育振興基本計画

教育基本法の規定に基づく、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画。現行の第2次長野県教育振興基本計画の計画期間は平成29年度末で終了する。

# 問題意識 (たたき台)

時期	幼児	小中学校	高校	大学・社会人
<b>激変する社会</b> ↓ 少子化 グローバル化 格差・貧困 情報化 SNS、IoT、AI等	<b>激変社会に対応し、能動的に生きていくために必要な学びの変革</b>			
	生涯にわたる人格形成の基礎となる幼児期の学びのあり方は。また、その実現のためには何が必要か。	激変社会を生きていくために必要な能力はどのようなものか。また、そのような能力を育む教育のあり方はどのようなものか。 (学力向上、探究型の学び、グローバル、ICT、キャリア教育、地域・社会につながる学び、高校の規模の適正化と学びの改革 等)	次代を担う有為な人材を県内で育成し定着させるため、高等教育機関の果たす役割は。また、県の支援はどうあるべきか。	
	長野県らしいインクルーシブな教育システムは「子どもにとっての学び」の視点からどうあるべきか。(特別支援教育の充実)			
	健康長寿で安全安心な長野県を維持、向上させていくための学びはどうあるべきか。 (体力・運動習慣、健康教育、性教育、食育、防災教育、人権教育 等)			
	地域で学び続けること。また、その学びが地域に活かされるには何が必要か。 (公民館、図書館、博物館等) 働きながらさらに学び続けることを可能にするにはどういった仕組みが必要か			
<b>学びの保障</b>	<b>誰もが学び続けることができる体制の整備</b>			
	困難を抱える子どもたちに継続的かつ総合的な支援を行うためには何が必要か。 (貧困、発達障がい、虐待、いじめ、不登校、外国籍等)			
	少子化が進む中、中山間地域における子どもたちの学びをどう保障し水準を確保していくか。			
<b>学びの基盤</b>	「学びの変革」「学びの保障」を支える基盤をどのように構築していくか。 (コンプライアンス、教員の資質向上、教員の多忙解消、教育施設整備、学校・家庭・地域の連携 等)			